

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公開番号】特開2015-106013(P2015-106013A)

【公開日】平成27年6月8日(2015.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-037

【出願番号】特願2013-247391(P2013-247391)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 Z

G 03 B 21/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月2日(2016.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源部から出射された光を変調して画像を形成する光変調部と、前記光変調部により形成された画像を投射する光学部とを筐体内に備えるプロジェクターであって、

前記筐体は、接続ケーブルがそれぞれ接続される第1接続端子部及び第2接続端子部を該筐体の同一の面に備え、

前記第1接続端子部は、前記第2接続端子部よりも奥側に、前記接続ケーブルのコネクターを前記面に対向する方向に差し込めるように配置され、

前記第2接続端子部は、前記第1接続端子部よりも手前側に、前記接続ケーブルのコネクターを前記面に沿った方向に差し込めるように配置されていることを特徴とするプロジェクター。

【請求項2】

前記筐体は、該筐体を固定設置するための設置面部と、この設置面部の周囲に設けられる側面部とを備え、一の側面部に前記第1接続端子部及び前記第2接続端子部を備え、

前記第2接続端子部は、前記コネクターを前記設置面部の側から差し込めるように配置され、該側面部における前記第2接続端子部よりも前記設置面部から遠い側には、内部に向けて窪む凹部が形成され、前記凹部の底部分に前記第1接続端子部が配置されていることを特徴とする請求項1に記載のプロジェクター。

【請求項3】

前記筐体は、前記面に該筐体内に冷却用空気を導入する複数の給気口を横並びに備え、これら給気口の間に前記第2接続端子部が設けられていることを特徴とする請求項2に記載のプロジェクター。

【請求項4】

前記第1接続端子部は、少なくとも一の給気口よりも前記設置面部から遠い側に配置され、該一の給気口と隣接する他の給気口との間には、前記第1接続端子部に接続される接続ケーブルを結束する結束部材が設けられていることを特徴とする請求項3に記載のプロジェクター。

【請求項5】

前記筐体は、前記面の周囲に立設された立壁部を備え、この立壁部に平板状のカバー部材が配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のプロジェクター。

【請求項 6】

前記カバー部材は、通風可能な格子部を備えていることを特徴とする請求項 5 に記載のプロジェクター。

【請求項 7】

前記第 1 接続端子部は、少なくとも外部機器からの画像信号が入力される信号入力端子を備え、前記第 2 接続端子部は、電源ケーブルが接続される電源供給端子であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のプロジェクター。